

STI Horizon 2019 冬号発行に当たって

STI Horizon 2019 冬号をお届けします。本号では、特別インタビューとして、科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」(SciREX) 推進事業を先導された黒田昌裕政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター (SciREX センター) 顧問に、歴史認識を踏まえた科学技術イノベーション政策の今後についてお話を伺いました。また、ナイスステップな研究者のインタビューとして、市民参加型の「マルハナバチの国勢調査」を立ち上げた大野ゆかり東北大学東北アジア研究センター学術研究員に、また、日本の陶芸を愛する若き AI 研究者である Edgar Simo-Serra 早稲田大学理工学術院専任講師にお話を伺いました。

社会や科学技術の新たな「兆し」を報告している「ほらいずん」では、先号に引き続き第 11 回科学技術予測調査の関連記事として、科学技術発展の中長期的展望を把握するためのデルファイ調査の概要を取り上げました。また、最近市場化が進みつつある、新しい創薬モダリティ (創薬技術の方法・手段) としての核酸医薬の動向を報告します。

当研究所の研究成果等を紹介するレポートとして、「全国イノベーション調査 2018 年調査」に基づく分析である「企業年齢とイノベーションー成熟企業は若年企業に劣るか?」を報告します。また、Society 5.0 に関連した「科学技術に関する国民意識調査」の分析結果をお届けします。

本誌 STI Horizon の各記事が読者の皆様にお役に立てれば幸いです。また、お近くの方々や、SNS 等 Web メディアでの御紹介もよろしくお願いいたします。

STI Horizon 誌編集長 赤池 伸一
(科学技術・学術政策研究所 上席フェロー)